

はじめに

全国的に人口減少、少子高齢化が進行する中、地方自治体及び各地域においては、それぞれの状況を踏まえ、その特性に応じた高齢者施策が求められています。

現在、本市では高齢者数がピークを迎え、高齢化率は既に40%を超えている状況にあります。

高齢化にともない、医療・介護の必要性が高い方が増加していくことから、元気な高齢者を増やす取り組みを拡げ、高齢者が地域で生き生きと安心して暮らせる環境づくりが必要です。

このような中、本市では、令和2(2020)年3月に本市の最上位計画である「第2次臼杵市総合計画」の後期基本計画を策定いたしました。この計画において、健康福祉の取り組みの中の高齢者関連施策としては、「健康寿命を延伸する」こと、「高齢者が生き生きと安心して生活する」ことを施策の方針の1つに、また、「高齢者の生きがいづくりへの支援」や「介護保険制度の円滑な運営」などを具体的な施策として体系づけています。そのため高齢者の方々に対しては、ニーズにきめ細かに対応しサービスの向上に努め、課題に対して臨機応変に対応していくことが必要になります。

この度、この総合計画を踏まえて策定した、「臼杵市高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画」は、令和3年度から令和5年度までの3年間を計画期間として、団塊の世代が後期高齢者に達する令和7(2025)年、団塊ジュニア世代が65歳以上となる令和22(2040)年を見据え、地域包括ケアシステムの更なる進化・推進に取り組み、その先の地域共生社会の実現を目指すこととしました。

今後も、これまで以上に市民、医療、介護、行政が連携し、「高齢者が地域で生き生き暮らせる環境づくり」を推進するため、諸施策に取り組んでまいりたいと考えていますので、市民の皆様方には、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心にご審議いただきました臼杵市高齢者福祉計画等策定委員会の皆様をはじめ、ご協力いただいた関係者の皆様に心からお礼申し上げます。



令和3(2021)年3月

臼杵市長 中野五郎